

こども通信

塚田こども医院

小児科・アレルギー科
漢方内科

上越市栄町 2-2-25
TEL 025-544-7777(代)
025-544-7779(保育室)
FAX 025-544-8456

ホームページ
www.kodomo-
iin.com



厳寒の冬になっていきます。大雪の被害も出ているようです。

事故に合わないよう、体調にも気をつけながらお過ごしください。

* *

専門的な気象用語が毎日のニュースで伝えられ、私たちの日常会話にも登場するようになりました。

JPCZもそうです。「日本海寒帯気団収束帯」。日本海にできる線状降雪帯のことで、これができると列島の日本海側に大雪をもたらします。こんな専門用語も普通に聞かれます。

上越市高田は江戸時代の書物『北越雪譜』の中で「この雪の下に高田あり」と書かれていたのだとか。その高田育ちの私にとっては、冬の大雪は当たり前。でも、近年の降り方は、時に異常です。経験したことの



ないような降り方になります。

今シーズンも12月から1月中旬までは暖冬で小雪。外でランニングできるほど。ところがその後ドカ雪になりました。県内の他の地域では

交通障害が起きるほど。

冬の間に降る雪の総量が同じでも、平均して降るのであれば対応できます。生活の支障はさほど起きないでしょう。でも短期間で集中的な降雪は問題です。近年はこんなことが多いようです。

気象の極端化なのでしょうか。夏になればめっちゃくちゃな暑さになりますし。

地球温暖化がこういった現象を起こしているという指摘があります。温暖化することで北極の氷が溶け、

感染症情報

新型コロナウイルス感染症の第8波は12月がピークで、1月は次第に発生数が少なくなり、下火に向かっているようです。といっても、完全に収束することは考えにくく、新しい変異株の流行が拡がると、次の第9波がやってくる可能性が十分にあります。引き続き十分に注意してください。

インフルエンザが1月に全国で流行期に入りました。新型コロナとの同時流行という形になりましたが、今のところインフルエンザもさほど大きな流行ではありません。例年は2月上旬に大きな流行になることが多く、またここ2年以上全く発生がなかったため、今後の動向が心配です。

新型コロナもインフルエンザも症状からは区別が付きません。発熱や咳、鼻水といった風邪症状があれば、園や学校を休み、小児科を受診してください。

その他の感染症では大きな流行は見られていません。RSウイルス感染症とヒトメタウイルス感染症は大きな流行はなく、少数の発生に止まっています。

感染性胃腸炎は発生数が増加傾向です。冬場に流行しやすいので、これからの季節は要注意です。

溶連菌感染症、アデノウイルス性咽頭炎が少しずつ発生があります。いずれも喉の痛みが特徴です。

寒気が不安定になって飛び出してくるのだとか。

このままでは地球環境は破壊され、人類の生存にも危険が生じます。未来に禍根を残してはいけません。温暖化には多くの原因があります。戦争や紛争は最たるもの。そして、人間の意思で止めることができず。

もう、戦争している場合じゃないですよ！

今月の予定

院長・副院長出務

上越市夜間診療所勤務 15日
上越有線放送「健康ライフ」24日
FM上越「Dr. ジローのこども健康相談」
毎週木曜午後1:20頃～(76.1MHz)

感染症情報(毎週)

FM上越: 木曜午後1:35頃～
上越有線放送: 月曜午後6時～(番組内)
医院ホームページ内

事故予防

異物誤飲に注意を

小さい子どもは色んな物を口にし
ます。身の回りにある物は何でも。
味を確かめてたり、口の中に入れる
ことを楽しんでみたり。

その結果、事故がおきます。異物
誤飲です。

●気道異物

口から先は二つの経路がありま
す。一つは空気が通る呼吸器ですが、
ここに異物が入りこむと窒息を起こ
す可能性があります。小さなビニ
ール片でも「凶器」になります。

ピーナッツなどの誤飲では、気管
支などを塞いで、急に喘息発作のよ
うな呼吸困難を生じることがありま
す（小さな子がいる家庭では、「福
はウチ」は危険です！）。

●消化管異物

もう一つの経路は食道から胃に向
かう消化器。異物が食道に止まると
胸苦しさが強く、コインは食道に穴
を開けることがあります。ボタン型

電池は電流が流れることで早期に食
道穿孔を起こすことがあります。い
ずれも緊急手術の対象です。

胃の中に落ちれば、多くの物が腸
管を通って、肛門から排出されます。
しかし、体内で悪さをする物もある
ので、注意が必要です。

ボタン型電池は胃酸で容器が溶
け、内容物が流れ出ることで胃壁に
穴が開くことがあります。レントゲ
ン撮影し、同じ場所に留まっている
時は危険です。

異物の形が問題になることもあり
ます。ピンのように先が鋭利なもの
は、胃や腸管に突き刺さることがあ
ります。ガラス片も同様です。

最近話題になっているのはマグ
ネットボールです。多くのボールを
使って、形を変えて遊びます。1個
だけ飲み込んだら、おそらく何も起
きないでしょう。

でも複数飲んだら危険です。強力
な磁石なので、腸管壁を挟み込み、
簡単に腸管穿孔を起こします。
子どもたちの身の回りに多くの危
険が潜んでいます。誤飲事故を起こ
さないように注意をお願いします。

マイナカードで何をしたいのか？

先月もお話しましたが、当院では12月にマイナンバーカード
を保険証として使えるように対応を完了しました。そこから1か
月半が経ちますが、利用はゼロのまま。

4月からは原則として全ての医療機関（病院、診療所、薬局）
でこのシステム導入が義務となります。当院はすでに対応してい
ますが、機器の設置や、電子カルテとの連携などがまだ進んでい
ない医療機関が何割かあるようです。準備が整っていない場合に
は半年ほどの猶予期間を設けるようですが、それでもシステムを
構築できない医療機関もあるでしょう。

医療機関にとっては「義務」ですので、その準備ができない（し
ない）ことで、廃院するところも出てきそうです。私たちの業界
では、これを期に引退するといったウワサ話も漏れてきています。
全国ではさとうの数の医療機関が消えて行くことになりかねませ
ん。

その結果、特に地方の医療提供が十分にできなくなる可能性も
あり、事態は深刻です。

さらに、現在の保険証は来年秋に廃止し、マイナカード一本に
するとの方針がすでに示されています。マイナカードで保険証機
能を代行しようというのがとても不便なことだということは、先
月もお話しました。実際に当院では使用実績なしですが、どの医

療機関でも同様です。小児科に限ったことでもなく、高齢者が多
い内科などでもそうです。困ったことです。

マイナカードと保険証の一体化・・・国民にも、医療機関にもメ
リットがなく、不便さが際立っています。それなのに、義務化し、
強制・強硬しようとするのは、なぜなのでしょう。

マイナンバーカードそのものの是非についても、様々な議論が
ありました。国民の中にある不正利用への不安など、所持するこ
とに消極的であり、普及がなかなか進まない。取得すると数万円
分のポイントを付与するという「奇策」を実行したので、普及は
進んできました。でも、便利なもので、必要性が高ければ自然と
普及するはず。便利ではないし、必要性がないから、「お金でつる」
ことになっているわけです。

保険証との一体化も同じです。これまでの保険証というシステ
ムに問題があったわけではなく、無理にマイナカードにくっつけ
てしまったから、問題が生じてきました。

それもこれも、マイナカードを普及させたいがための政策。で
も、マイナカードで一体何をしたいのか？ それが見えてきませ
ん。全ての国民にすでにマイナンバーは付けられています。カー
ドにして持ち歩く必要はどこにあるのだろうか？

ここまで無理強いをしてマイナカード普及に努めてきたからに
は、もう止めることができない。軌道修正ができず、突き進んで
いく様子は、この国のあり方の根本問題なのだと思います。

☆新型コロナウイルスの行政上の扱いが、5月8日に2類相当から5類に変更することが決定。それまではこれまでと同じ対応です。